熊野町CAN－DOリスト

校種		小学校				中学校		
学年		第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
聞くこと		(ア)ゆっくりはっきりと話された際に，自分のことや身の回りの物について，簡単な語句を聞き取る。 (ウ)アルファベットの読み方が発音されるのを聞いた際に，どの大文字であるかが分かる。	(イ)ゆっくりはっきりと話された際に，身近で簡単な事柄について，手掛かりがなくても基本的な表現の意味が分かる。 (ウ)アルファベットの読み方が発音されるのを聞いた際に，どの小文字であるかが分かる。	(ア)ゆっくりはっきりと話されれば，自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。 (イ)ゆっくりはっきりと話されれば，日常生活に関する身近で簡単な事柄について，視覚情報を参考にしながら具体的な情報を聞き取ることができる。	(ウ)ゆっくりはっきりと話されれば，日常生活に関する簡単な語句や基本的な表現で話される短い話を聞いて，全体の大まかな内容を捉えることができる。	聞き取りの観点が与えられたり，ゆっくりと2度繰り返されたりすれば，5文程度のまとまりのある話や対話を聞いて，大切な部分を理解することができる。	聞き取りの観点が与えられたり，ゆっくり(または繰り返して)話されれば，5文程度のまとまりのある対話を聞いて，重要な情報を正確に理解することができる。	5文程度のまとまりのある話や英語を聞いて，概要や要点を理解することができる。
読むこと				(ア)活字体で書かれた文字の形の違いを識別し，文字を見てその名称を発音することができる。	(イ)音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味を理解したり，言語外情報を伴って示された語句や表現を推測して読んだりすることができる。	読み取りの観点が与えられれば，5～10文程度の紹介文などを読んで，重要な情報を正確に理解することができる。	読み取りの観点が与えられれば，50～100語程度のまりのある様々な英文を読んで，書き手の意見や登場人物の気持ち，要点を理解することができる。	250～300語程度の複数パラグラフの様々な英文を読んで，登場人物の気持ち，概要や要点を理解することができる。
話すこと	やり取り	(ア)基本的な表現を用いて挨拶，感謝，簡単な指示をしたり，それらに応じたりする。 (イ)動作を交えながら，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合う。	(ウ)サポートを受けて，自分や相手のこと，身の回りの物に関する事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりする。	(ア)基本的な表現を用いて指示，依頼をしたり，それらに応じたりすることができる。 (イ)自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	(ウ)自分や相手のこと，身の回りの物に関する事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いて，その場で質問をしたり答えたりすることができる。	身近な話題について，状況に応じた適切な表現を使って即興で伝え合うことができる。	身近な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理して，状況に応じた適切な表現を使って即興で伝え合うことがができる。	身近な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて，状況に応じた適切な表現を使って考えたことや感じたこと，その理由などを即興で伝え合うことができる。
	発表	(ア)(イ)身の回りの物や自分のことについて，人前で実物などを見せながら，十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて話す。	(ウ)日常生活に関する身近で簡単な事柄について，人前で実物などを見せながら，自分の考えや気持ちなどを，十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて話す。	(ア)日常生活に関する身近で簡単な事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。 (イ)自分のことについて，伝えたいことを整理し，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	(ウ)身近で簡単な事柄について，伝えたいことを聞き手に分かりやすく整理し，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	準備する時間があれば，身近な話題について，3文以上のまとまりのある英語で紹介することができる。	準備する時間があれば，身近な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理して，4文以上のまとまりのある英語で情報を伝えたり，意見を述べたりすることができる。	準備する時間があれば，身近な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて，5文以上のまとまりのある英語で情報を伝えたり，意見やその理由などを述べたりすることができる。
書くこと				(ア)大文字，小文字を活字体で書き分けることができる。また，語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。	(イ)英語で書かれた例文を参考にして，その中の一部の語，または一文を自分が表現したい内容のものに置き換えて文章を書くことができる。	自分や身近な人や事柄について，3文以上のまとまりのある英語で紹介文などを書くことができる。	自分や身近な人や事柄について，4文以上のまとまりのある英語で紹介文を書くことができる。	身近な話題や自分の意見について，5文以上のまとまりのある英語で様々な文章を書くことができる。